



月刊ワン・ライフ



2020年
向暑号



生まれたてなのにベテラン事業所!?

わんらいふ
医療・介護相談室です!

現在2名のケアマネジャーが在籍しており、どちらもケアマネ歴16年。これまでたくさんのご利用者様、御家族様、サービススタッフの皆様に出会い、助けられ、この仕事を続けてきました。いつ、誰に尋ねられても、「この仕事が好きです」と胸を張って言えます。

☆ ご利用者様の生活歴を大切にします。

ケアマネがご利用者様に出会うのは、要支援や要介護状態になってから。元気な頃、お仕事をされていた頃、家族のためにお力を発揮していた頃のことは、お話を聞く以外に、知ることができません。

私たちは、ご本人様やご家族様がどのように生活してこられたのか、どのようなお考えや価値観をお持ちなのかを大切に、ケアプランに生かしていきたいと考えています。



☆ 私たちも一緒に悩ませてください。



介護保険サービスでの支援を受けられる際、なかなか決められない時もあると思います。また、利用し始めたサービスに対して、悩んだり、疑問をもったりすることも当然あります。ケアマネは、何度でも一緒に悩み、考え、選んでいく伴走者でありたいと願っています。

☆ ご自宅での看取りにも、しっかり対応させていただきます。

死ぬまでご自宅で過ごしたいというご本人様、自宅で看取りたいという介護者様も増えてきています。私自身、この事業所を始めて以来、何件もの看取りに関わらせて頂きました。訪問診療医、訪問看護師とも連携し、不安なくご自宅で過ごせる様に支援します。



～ ころに残るご利用者様との関わり ～

癌末期の女性で、治療による改善が望めなくなり自宅退院をご希望されたA様。夫婦お二人暮らしで、ご主人様は初めての介護でした。退院日、ご本人様の趣味だった墨絵の作品が飾られたお部屋で「やっぱり落ち着く」とにっこり。訪問診療、訪問看護、訪問介護などを調整させて頂き、「トイレに行きたい、オムツにしたくない」というA様のご希望を、ポータブルトイレへの移動介助で支援しました。徐々に意識がぼんやりし、体力が落ち、ベッド上から動けなくなりました。退院後18日目、ご主人様が主治医と相談され、療養病院へご入院。その4日後にご逝去されました。私やスタッフの帰りに笑顔を見せてくださり、ご自身が苦しい中、ギリギリまで周囲を気遣って下さる優しいご利用者様でした。



介護のことや介護保険サービスのことなど不明なことがありましたらお気軽にご連絡ください。

わんらいふ医療・介護相談室 080-4139-5391

株式会社 ワン・ライフ